

これまでの議論

今後の検討の進め方

1 背景

- ・ 少子高齢化が今後ますます進展し、2040年には65歳以上の老年人口が35%を超えるという予測がある
- ・ 生産年齢人口が減り、地域が活性化せず沈滞化していく

2 対象

- ・ 子育て世代、大学生や未就学児、小中学生、高校生など多様なターゲットを考える
- ・ 子育て世代に関しては、麻生区は比較的収入が高く共働きよりも専業主婦がターゲットになるか
- ・ まちの活性化を考える上では生産年齢世代が増えることが重要

3 方向性

- ・ 生産年齢の若い人たちが入り込んでくるような町にするための取組みを考える必要がある
- ・ 生産年齢世代が積極的に地域に関わって活動してもらえる環境づくり
- ・ どうやったら若い人が住めるようになるのか、住みやすいところとはどういうところかを考える
- ・ 市民レベル・市民目線で、少子化を食い止めるために必要な取組みを考える

- ・ 親や子が身近で遊べる場所や機会づくりを考える
- ・ 子どもが育てやすい環境とは
- ・ 多世代が互いに協力し合い、共生し合う町
- ・ 高齢者も若い人も巻き込んだコミュニティの形成による子どもの居場所づくり

部会テーマ
「若い世代が住みやすいまちづくり」
 第4期「若者が住みたくなる魅力あるまちづくり」
 のテーマを継承

具体的取組みに関する主な意見

取組み	これまでの主な意見	方向性（例）
1. 麻生区の魅力のブランド化とPR	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉県流山市では重点的な施策により若者を増やすことができた。要因は、 →PRをうまく行ったこと（行政にPR室を設置し広報に力を入れた） →共働きをターゲットに、女性が働きやすい環境や、自然の豊かさなどブランドイメージを作り上げた。（保育所利用者に対する駅前送迎サービスなど子育てしやすい環境づくりを進めた。） ・ 麻生区の魅力は、 →安全で便利で学生が住みやすいまち →芸術のまち ・ 外から麻生区に人が入ってきてもらうためには、 →今既にもっている良さをさらに掘り起こす。 →区民にプラスのことを新たに提案して作り出す。 ・ 現状では、駅までのバス便がないなど不便な地域がある。 ・ 地下鉄3号線の延伸を契機に新百合ヶ丘のまちのあり方を考える。 	<p>例：千葉県流山市の取組みについての調査を行い、まちのブランド化とPRのノウハウを収集する。⇒麻生区への活用方法を検討する。</p> <p>例：麻生区の現在の魅力につながる資源を調査し、その掘り起こしと、新たな魅力の提案を行う。 例：麻生区における効果的なPRの方法を検討し提案する。</p>
2. 空き家の利活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区内・近隣にある6大学の学生向けに、高齢化で出てきた空き家をシェアハウスとして活用が考えられないか。 →昭和音楽大学の学生などが実際にシェアハウスを借りているという話がある。 →王禅寺などでも家主から部屋を貸したいという話がある。 ・ 一方で、空き家ができるのは駅から遠い場所が多く、条件の悪いところで需要はあるか。 →地域貢献を条件に若者に安く貸すということが考えられないか。 →学生は個室指向が強くシェアハウスのやり方がうまくいか疑問なところもある。 →空き家・空き室を学生等の住まいに結びつけるためのNPOの立ち上げや不動産業者との連携が考えられないか。 	<p>例：空き家・空き室の実態を調査する（どのくらいあるか、活用は可能かなど） 例：大学生等のシェアハウス・シェアルームに関するニーズを調査する。 例：空き家・空き室を学生等の住まいに結びつける、あっせん・コーディネートなどの仕組みを検討する。</p>
3. 子ども達とその親などが集う「場」づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども達とその親が集う場（遊び場等）が必要ではないか。 →上麻生隠れ谷公園は、若者が管理団体を立ち上げ定期的にイベントが開かれるようになった。このやり方をモデル的に広げていけば。 →「わ・わ・わクラブ」や「プレーパークを創る会」などの取り組み例がある。 ・ 地域で活動する団体が単発的にあるが、それらを広げつなげていければ。 ・ 若者カフェのような若い人たちが交流できる場ができないか。 	<p>例：既存の「場づくり」の取組の事例（実情と課題等）を調査する。 例：「場づくり」の取組みを広げていくための方策を検討する。</p>

ステップ1

具体的取組みテーマの検討

一つの世代だけに絞り込むのではなく、それぞれそれなりの結論を少しずつ出していきながら、メインに考えるのは1つ、ないしは2つやっていく。

ステップ2

課題解決策の検討

考えられる課題解決方法を検討し、先進事例や現況把握調査、モデル事業実施方法を検討する。

ステップ3

先進事例や現況把握調査・モデル事業の実施

例：先進的な他都市の視察、地域の実態アンケート・ヒアリング調査、モデル的な取り組みの実施

ステップ4

ステップ3実施後の検証を踏まえた解決方法の検討

先進事例や現況把握調査、モデル事業等の結果を検証し、課題解決方法を検討

提言（報告書作成）